

第4回 三豊市就学前教育・保育検討委員会 会議録

日 時	令和元年 11 月 26 日（火）午前 10 時 00 分～午前 11 時 35 分
場 所	みとよ未来創造館 A・B 会議室
出席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】13 名 松井 剛太（委員長）、常田 美穂（副委員長）、則久 郁代、石川 眞弓、安藤 紳一、友枝 洋規、田井 清、藤井 香織、吉田 麻有実、平尾 太一、平尾 俊文、三木 緑、田尾 和人（敬称略・順不同）</p> <p>【事務局関係職員】11 名 健康福祉部 滝口部長 保育幼稚園課 藤田課長、多田 G L、松岡、富田、大西、関、白川 教育委員会事務局 岩本部長 教育総務課 豊島課長 学校教育課 松岡</p>
欠席者	<p>【三豊市就学前教育・保育検討委員会委員】2 名 佐久良 恵都子、島田 雅子</p>
傍聴者	0 名
会議次第	<p>1. あいさつ</p> <p>2. 議事 （1）三豊市就学前教育・保育に関する計画（仮称）〔骨子案〕について （2）その他</p> <p>3. その他</p>
会 議 概 要	
開 会	
事務局	<p>本日はご多忙の中、第 4 回三豊市就学前教育・保育検討委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の会議は、委員 15 名に対して 13 名のご出席をいただいております。三豊市就学前教育・保育検討委員会設置条例第 6 条第 2 項の規定により、会議が成立することをご報告させていただきます。</p>
1. あいさつ	
委員長	<p>第 4 回目の会議ということで、あっという間に年末になってしまいました。本日は、骨子案が事前に配布されていることと思いますので、それに対する委員の皆様のご意見をいただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
2. 議事	
（1）就学前教育・保育に関する計画（仮称）〔骨子案〕について	
委員長	<p>議事に入らせていただきます。まず「就学前教育・保育に関する計画（仮称）〔骨子案〕」について、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局	<p><就学前教育・保育に関する計画（仮称）〔骨子案〕></p> <p>◆資料①【就学前教育・保育に関する計画（仮称）〔骨子案〕】の概要を説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育・保育の質の向上等の方策」、「人材の育成・確保の方策」については、前回のグループワークで具体的な提案もいただいております、本日の意見も踏まえて、「骨子案」に肉付けをしていきたい。修正をかけたものを次回の会議で諮った後、パブリックコメントを実施する。
委員長	<p>それでは、ご意見、ご質問等がございますか？</p>
A 委員	<p>「教育・保育施設の適正規模」のところで、「3 歳児は1 クラス5人以上 25 人以内」となっているが、「三豊市幼稚園の管理運営に関する規則」では、3 歳児は1 学級 20 人以下と規定されている。整合できていないのでは？</p>
事務局	<p>市立幼稚園については1 学級 20 人以下という規則があるが、市立保育所には1 クラス当たりの人数の規則がないため、現状では 20 人を超えて 30 人近く1 部屋に入所しているケースがある。子ども 20 人に対して保育士 1 人の配置が必要となるので、20 人を超える場合には職員が複数配置となる。</p> <p>4・5 歳児の適正規模は 1 クラス 30 人以内としており、3 歳児はもう少し人数が少ない方が良いのではという考え方のもと、1 クラス 25 人以内としているが、保育所でも1 クラス 20 人以内を希望する意見もあると思うので、0 歳児や1 歳児、2 歳児の部分も含めて、ご意見をいただきたい。</p>
委員長	<p>「保育所においても3 歳児は1 クラス 20 人以内を目指すべきか」ということに関して、ご意見はございますか？ 現場の先生の意見はどうでしょうか？</p>
事務局	<p>保育所の場合、面積によって保育できる子どもの人数が決まっており、面積さえ適合していれば、1 部屋に 20 人以上入っている。ただし、実際に3 歳児を 20 人以上預かるのは、職員にとって負担が大きい。</p>
委員長	<p>保育士確保という点との兼ね合いも考えられますが、いかがですか？</p>
事務局	<p>1 部屋に子ども 20 人を入れて先生 1 人で担当する場合は、先生 1 人あたりの子どもの人数は 20 人となる。部屋の面積が広く、1 部屋に子ども 24 人を入れて先生 2 人で担当する場合は、先生 1 人あたりの子どもの人数は 12 人となる。そのどちらが良いのか議論いただきたい。</p>
B 委員	<p>小・中学校なら外国籍の子どもが在籍した時に、支援員を付けるような対応ができるが、幼稚園、保育所ではそういった対応が難しいのが現状だと思う。外国籍の子どもが今後増えてきたときに、1 クラスの人数が多くなって十分に対応できず、</p>

	<p>しっかりとした保育ができない可能性を考えれば、1クラスの人数は抑えておいたほうが良いのではないかと。</p>
C 委員	<p>保育所も幼稚園も1クラス20人以内が望ましいと思う。人員確保や経営の問題、外国籍や発達に気になる子どもなどへの個別支援の問題もある。</p>
D 委員	<p>現状の話ではなく、適正規模の話をしているので、3歳児は1クラス20人以内が良いのではないかと。その上で、「現実として受入人数が増える場合には、職員配置による柔軟な対応を行う」というような表現を入れれば良いのではないかと。</p>
事務局	<p>実際には、3歳児が20人を超えて2クラスになっている幼稚園は、豊中幼稚園以外はほとんどない。一方で、保育所ではそういうところが多くなっており、面積要件で許される限りは希望者をどんどん入れて、必要な保育士数を配置している。ただし、保育士さえ確保できれば1部屋に30人でも40人でも、いくらでも入れて良いのかという問題もあり、骨子案では25人以内という人数とした。</p> <p>この部分については、委員の皆様からのご意見をもとに、3歳児の適正規模は1クラス20人以内とするが、実情に合わせた柔軟な対応も必要となるので、そのような文言を追加する方向で検討したい。</p>
C 委員	<p>「子育て支援サービスの充実」について、公立保育所の0歳児の受入年齢と土曜保育のあり方について、もう少し踏み込んで記載して欲しい。特に、山本や財田などの市南部地域で、8ヶ月未満からの受入を強く望みたい。</p> <p>また、土曜保育については、全部の保育所で全日保育をやってほしいということではなく、どこか一つの保育所でも、輪番制なら職員を配置できると思う。</p> <p>現在、公立保育所の土曜保育が昼までなので、午後から一時預かりを利用する家庭が増えている。そういう状況があるので、公立保育所の土曜日の全日保育を輪番制で行ってほしい。今後、そういう保育サービスの充実をお願いしたい。</p>
事務局	<p>土曜日の全日保育については、公立保育所でも当然やっていくべきだと思っているが、現在のように定員の120%、130%の子どもを受け入れている中で、常勤の保育士が土曜日にも出勤するとなると、代休の日に代わりの保育士を配置するのが難しいこともあり、実施には至っていない。</p> <p>輪番制については、いつもと違う先生が来たときに子どもたちがどう思うのかなどを考えなければいけないが、土曜日の全日保育については問題意識を持っているので、今後検討していきたい。</p>
C 委員	<p>発達支援の強化について、早期発達支援コーディネーターという専門の先生が保育所に1日入って保育士にアドバイスしてくれる制度がある。発達に気になる子どもがいる場合、専門職が保育所に行き、保育士を指導したり、保護者との連携を進</p>

	めたりしてくれる支援サービスを望みたい。
事務局	発達の気になる子どもへの対応については、臨床心理士など専門家の方々に各保育所・幼稚園を巡回訪問している。訪問回数を増やして支援を強化していく方針を出しており、私立の保育施設も増えているので、公立・私立関係なく支援を強化していくという表現を加えたい。
副委員長	「療育・発達支援の強化」のところで、早期発達支援コーディネーターなど具体的な専門家を記載した上で、発達の気になる子どもがいたときに、専門機関によってつながるシステムを作っていく方針を出してほしい。子育て世代包括支援センターもあると思うが、具体的な仕組み作りが必要ではないか？
事務局	この件については、健康福祉部内で具体的な取り組みを検討しており、子育て世代包括支援センターを強化していく方針である。児童相談や虐待防止、障がい者支援等を包括して対応していく枠組みづくりを進めており、就学前だけでなく、小・中学校でも一貫して支援していく体制作りを協議しているため、その中身を計画に入れていく方向で考えたい。
E 委員	「計画の期間」のところで、「令和 10（2029）年度まで」とあるが、令和 10 年は 2028 年ではないか？
事務局	計画期間は来年度からの 10 年間なので、「令和 2（2020）年度から令和 11（2029）年度までの 10 年間」に修正する。
F 委員	「配置のあり方」のところで、「詫間町区域の松崎保育所、松崎幼稚園も老朽化が進みつつあるので、区域内の詫間幼稚園も含め・・・」とあるが、須田保育所も詫間町区域にあるので、文中に加えられないのではないか？
事務局	老朽施設のあり方を検討する上で、優先順位としては、築 46 年を超えている松崎幼稚園が一番となる。松崎幼稚園を考える上では、幼稚園という点では、詫間幼稚園も一緒に考える必要があり、また、松崎地区という点では、松崎保育所も一緒に考える必要があるため、このような表現となっている。
F 委員	須田保育所も十分に古いと思うが？
事務局	市内全域には須田保育所と同じ程度の築年数の施設が複数あるため、まずは計画前期の 5 か年の中で、対策が急がれる施設を考えたときに、当てはまるところを記載している。前期の 5 年間で計画通り進捗すれば、後期にはまた別の施設について考えることになる。

B 委員	<p>「食育の推進」に関して、三豊市ならではの食育というものをぜひ打ち出していきたいと思う。三豊市では、仁尾小学校で、食育によって子どもたちの状況が劇的に改善したという例が実際にある。それを受けて保育所でも頑張ろうということで、全保育所の所長たちが食育勉強会を立ち上げ、取組みが広がった。</p> <p>しかし、当時から期間が経ち、また、保育所も公設民営や民設民営などの施設が増えてきたこともあり、三豊市内の全保育所で取り組んでいたことが薄れつつあるため、残念に思う。ぜひ食育というものをもう一度掘り起こし、三豊市ならではの地域性を生かした、子どもを元気にする食育に取り組んでほしいと思う。</p>
委員長	<p>この計画にどこまで具体的な内容を書けるのか考える必要がある。この骨子案に基づき、具体的な取組みが肉付けされると思う。</p>
G 委員	<p>保育所の入所のことで、「面積的には受入人数を増やせるが、保育士の人数が足りないために、これだけしか入所できません」という現状がある。優秀な人材を他市にとられてしまったり、民間施設に流れたりという話を聞くので、育成・確保の面で、もう少し市には採用を頑張っていたきたい。</p>
事務局	<p>今は民間保育施設もたくさんあるので、公立保育所だけ保育士を確保できれば良いということではない。民間施設も含めて、三豊市の保育施設を選んでくれるような施策をとっていくべきだと思う。保育士確保については、公・民連携で考えなければいけない。</p>
H 委員	<p>「施設の適正規模」に関して、高瀬南部保育所では 20 人を超えて 1 部屋に入所しているが、1 部屋の中で子どもを 2 クラスに分け、先生が 2 人配置されている。食事など通常の生活は部屋にいる全員で一緒にしているが、遊戯室で体操教室をするときなどはクラス別に行動している。部屋のみなが一緒にの時間と、クラスごとに行動する時間を分けるような工夫がされており、いい方法だと思った。</p>
I 委員	<p>この委員会で「ななつのたから」の存在を知ったが、もっと多くの人に広まるよう、いろいろなところに読める形で掲示すれば良いと思う。</p> <p>また、「配置のあり方」のところ、豊中地区は豊中幼稚園が大規模であることと、就学時に 5 つの小学校に分かれる形があるので、そのあたりの問題を配慮してほしい。</p>
事務局	<p>豊中幼稚園の話が出たので、適正規模のことで付け加えると、今回の骨子案では、1 部屋あたりの人数で適正規模を定めているが、これまでの計画等では、1 つの施設としての適正規模として、1 保育所あたり 60 人～90 人とか、1 幼稚園あたり 80 人～120 人の規模が望ましいという記載があった。</p>

	<p>それを踏まえると、保育所や豊中幼稚園は適正規模からかなり外れているのが現状であるため、民間保育施設も増えている中で、そういうところの受け入れを増やししながら、子どもの分散を図るといったことを計画に追加したいと考えている。</p> <p>また、以前の計画策定時には、4・5歳児は幼稚園に行く流れがあったので、1保育所は60人～90人という規模で収まっていたが、現在は多くの4・5歳児が保育所を利用しており、90人以内に抑えることが厳しくなっている。幼稚園の適正規模の上限である120人とか、140人～150人くらいまでは許容範囲ではないかとも考えている。</p> <p>ただし、豊中幼稚園などは極端に人数が多いので、小学校との関係はあるが、適正規模に近づけるような施策を記載したいと思っている。</p>
委員長	<p>現状に合わせていく方向での記載を考えているようですが、豊中幼稚園などは圧倒的に人数が多いので、具体的な施設名をどこまで入れるのかということについて、事務局でお考えはありますか？</p>
事務局	<p>その点は悩んでいるところで、豊中地区は小学校統合の検討も始まっており、この計画の中では、当然そこも注視する必要があるので、現状では具体的な施設名を記載するのは難しいと思っている。</p>
I 委員	<p>具体的な施設名は記載しにくいと思うが、「大規模の幼稚園については子どもを分散する努力をする」といったことを記載していただければと思う。</p>
事務局	<p>この問題は公立施設だけの話ではなく、近隣に民間の保育所や認定こども園ができれば、そこに行く子も増えてくる。そうすれば、大きな施設も少し適正規模に近づけていける。民間施設の配置も含めて、他の施設との関係性の中で、「適正な規模に近づけていく」という表現を加えたい。</p>
J 委員	<p>幼稚園の保護者代表として、先生などの人材確保をこれまでお願いしてきたが、市には余裕を持った人材確保を考えていただきたい。</p>
K 委員	<p>「ななつのたから」が良いという意見があったが、平成25年に作られたものなので、知らない人も多いと思う。この計画案は文字が多いので、「ななつのたから」の表紙の絵を入れるなど、工夫してもらえればと思う。</p>
委員長	<p>「ななつのたから」については前回のグループワークでも、市立・民間を含めて更新を検討していくという話が出ましたし、表紙などがあると見ていただけることもあるのではないのでしょうか。</p>
副委員長	<p>「民間・市立の協働による研修・研究の推進」のところにも、「ななつのたから」</p>

	<p>の理念を先生方が受け継ぎ、市の方針として共有していくということを書いておく方が良いのではないか。</p>
委員長	<p>「教育・保育の質の向上等の方策」のところ、三豊市での具体的な取り組みを肉付けするという話がありましたが、現場の先生方に聞き取りを行った上で進めるというイメージですか？</p>
事務局	<p>「ななつのたから」の方針を散りばめても良いと思うし、三豊市ならではの教育・保育という部分を出したいと思っている。</p>
A 委員	<p>今、現場が行っている地域との連携事業などで、例えば、まちづくり推進隊や老人会、自然観察同好会やもちつき同好会など、そういう人たちのことと絡めて具体的な取り組みを記載できれば、もっと分かりやすくなるだろうし、難しい文章がもっと読みやすくなるのではないか。</p>
委員長	<p>全体的にご意見をいただきました。他にありますか？</p> <p>なければ、議事（1）については以上といたします。本日いろいろな意見をいただきましたので、事務局には、それを今後の計画作りに生かしていただきたいと思えます。</p>
<h3>3. その他</h3>	
事務局	<p><事務連絡></p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は1月末頃に開催予定。 ・本日の意見等をもとに骨子案に修正をかけ、パブリックコメント実施の前にもう一度最終案をお諮りする。そこでの意見をもとに調整した上で、2月から3月頃にパブリックコメントを実施し、市民等からの意見を募集する。その結果を受け、最終調整して、年度末までの計画完成を目指す。
滝口部長	<p>本日は大変お忙しい中ご出席いただき、ありがとうございました。今回、こういう形で骨子案をお示しさせていただき、委員の皆様からどういうご意見をいただけるのか、正直不安なところもありましたが、非常に建設的で、貴重なご意見をいただけたと思います。</p> <p>私もこの骨子案を読んだときに、少し三豊の色が少ないかなという印象を受けました。残された期間は少なくなりましたが、本日皆様からいただいたご意見をもとに、もっと三豊の独自色を肉付けし、次回に提案できるようにいたします。</p> <p>今日の会議で言いそびれたことや、もっとこんなふうを書いてほしいということがありましたら、ご遠慮なく皆様のご意見やご助言等をいただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。本日は大変ありがとうございました。</p>

閉 会	
事務局	それでは、以上をもちまして、本日の委員会を終了させていただきます。今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 本日はお忙しい中、誠にありがとうございました。